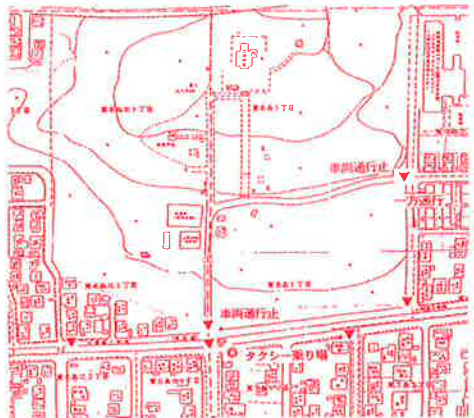




つくも山 第187号
平成27年12月3日
士別神社社務所
〒095-0008
北海道士別市九十九山
☎23-2243・FAX22-2553

士別神社ホームページ
検索

古峯龍尾神社祭／1月13日午後2時より境内古峯龍尾神社
紀元祭／建国記念の日、2月11日午前11時より
人形供養祭／3月3日午後3時より社務所前広場で。
不要の人形等、前日又は当日まで社務所へ!!



◆31日午後11時30分～1日午前1時30分
◆車両通行禁止 市道士別神社通の東8北1から東8の1まで290m、市道東広通東8北1から東8の1まで260mと東7の1の130m
◆一方通行 市道桜丘1丁目通の東8の2の120m
◆午前1時30分より夕方まで一方通行で境内に入れます

初もうで
元且午前0時、太鼓を打ちます。拝殿のとびらは夕方5時まで開いております。
▼おみくじ、ハマ矢、絵馬、熊手、各種お守り等は元且授与所又は社務所へ
▼元且のお祓い、ご祈禱も同様受付奉仕
つくも太鼓／午前0時より社務所前野外舞台上で弓道初射会／午前0時より境内弓道場で
日本詩吟学院岳風会初吟詠／昼11時より拝殿奉納
歳旦祭 元且午前10時より齋行
おさそい合わせご参拝ください。
下士別二之宮八幡神社では午前11時よりつくも梯子乗り保存会／4日午前8時20分頃境内空手道武徳会初けいこ／4日午前11時30分より

直ちには海に下らず北を指す天塩川は北国の意志 齊藤昌淳
境内の天塩川碑建立15周年祭が9月13日、札幌から令嬢の齊藤道子・東志千尋さんも参列、建碑代表の松岡岳兆氏が朗詠を献じ齋行されました。引き続き参集殿に書家中野北溟氏奉納掛軸を掲げ、医師で故人、文化貢献の故人を偲び、田茹子進総代会長はじめ30数人が次々に自作を献詠献句し和やかに平成六回目の詩歌祭が進められました。



※奉献歌句は次号に掲載します。

士別神社 TEL23-2243 FAX22-2553
新年家祓・会社工場安全祈願始業祭、交通安全車両入魂式・機械修祓・地鎮・上棟祭・引越越・創業開店繁栄祈願・合格祈願・他各種祭事は早めにご依頼を
■神事諸祭事信生活上の種々の相談は電話またはFAXでお気軽にごうぞ

平成28丙申年 厄年・祝年		数え年＝生まれた年を1才として数える	
性別	数え年	生れ年エト	該当
女	18	平成11年	う 前厄
	19	平成10年	とら 本厄
	20	平成9年	うし 後厄
男	24	平成5年	とり 前厄
	25	平成4年	さる 本厄
	26	平成3年	ひつじ 後厄
女	32	昭和60年	うし 前厄
	33	昭和59年	ね 本厄
	34	昭和58年	み 後厄
男女	37	昭和55年	さる 当り年
	41	昭和51年	たつ 前厄
	42	昭和50年	う 本厄
男	43	昭和49年	とら 後厄
	49	昭和43年	さる 当り年
	61	昭和31年	さる 還暦
女	70	昭和22年	さる 古稀
	73	昭和19年	さる 当り年
	77	昭和15年	たつ 喜寿
共	80	昭和12年	うし 傘寿
	88	昭和4年	み 米寿
	90	昭和2年	う 卒寿

厄年の厄を祓ってお役目の良い年...
厄はらい 心身 祈願祭
すがすがしい新春の神前で健康と繁栄を祈誓しましょう
日 時 1月3日(日) 午前10時より1回
1月10日(日) 午前10時より1回
1月11日(祝日) 午前10時より1回
※社務所で受付をします。時刻20分前迄においで下さい。
祈願料 三、〇〇〇円以上のお志
当日社務所受付へ。祈願の後、厄除神符・お守り・ご神饌・長寿ばし・縁起ふきん等を授与します。
※他の期日または出張奉仕希望の方は社務所へご連絡下さい。

節分祭 福まき
2月3日 3時



午後3時からの節分祭に引続き、カミシモ着用、年男、年女により賑やかに福まき、景品入りの福豆、福餅、福飴など沢山まきます。
奉仕年男女の受付、厄除け招福、諸願成就
1月30日迄、神社総代又は社務所へお申し込み下さい。
平成28年の当り年、申年生まれ、厄年歳祝、特別奉仕ほか、どなた様でもご奉仕を!!
参加初穂料 金一万円(カミシモ含)
神事奉仕、直会、福マス、申年土鈴、絵馬、福豆、福餅ほか授与。
厄祓い祈願の受付 (祈願料は1月の厄祓いと同一)
節分の日厄祓いも受付。午前8時から正午まで随時受付奉仕します。又は午後2時40分まで社務所へおいで下さい。

松納祭 どんどやき日程
1月15日(金)午前9時火入式
16日(土)・17日(日)の三日間です。
□社務所前、門松やしめ飾り、古神札などをお持ちの上お焚き上げ下さい(プラスチック類は燃やしません)
夜間の持ち込みはできません!
朝9時より夕方4時で終わります

はたちの旅立ち
成人祭
1月10日(日) 午後0時30分より
はればれとご参拝を!!
□当日時間までに社務所へ(会費等不要)
□新成人の皆様の前途を祝い、ご活躍を祈願してお守り・お赤飯他をさしあげます。
士別神社



祝 成人祭 2015年1月11日士別神社にて



▲仲よし

祭りの輪絆となりて大賑いの 百十七回土別まつり

「祭りの輪絆となりて日々の糧」
117回目の土別まつりは7月14・15・16日阿達勇祭典委員長はじめ役員専心奉仕、好天下、大賑いでした。
境内野外舞台での宵宮フェスティバルは吹奏楽民謡歌謡ショーで幕開け、15日朝9時78回御神幸式発興、装飾車両を列ね23ヶ所駐興祭、国道40号線中心街は土別小僧会を核に各地みこし会70余人が威勢よく担ぎ、土別中学生60人が白丁奉仕し威儀物を奉持、斎員伶人役員供奉員が徒歩行列を組み渡御しました。駐興所では今年も大國舞が奉納され、小餅やお菓子が



▲「怖いよー」

▲頑張るぞ!!
まわしをしめて



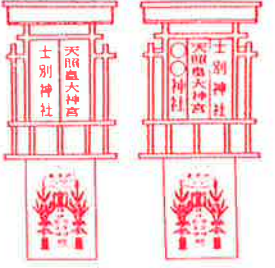
◆境内社古峯龍尾神社ご鎮座20周年例大祭は8月13日斎行、火防せのご神徳に奉謝、引続き参集殿で記念式典を斎行。大崎清会長式辞、小野喜民二代会長に後藤嘉明副会長から感謝状贈呈し写真、佐藤公聰宮司が祝辞を述べ、田疋子進総代会長の乾杯の発声で和やかに祝賀会が進められました。

新しいおぶだをまっしうてお正月を

もの皆あらたまる新年を迎える前に、しめなわを新しくし、神棚をお掃除して、新しいおぶだをお祀りしましょう。神棚には、天照皇大神宮と、土別神社の2体を合せおまつりするの正しい祀り方です。

天照皇大神宮

土別神社



生活や職業上の神様、各神社の御神札も合せてお祀りしてよしいです。
歳徳様（としがみさま）は正中中、神棚や床間など清浄な所に張ってお祀りします。古いおぶだがいっぱいになりましたら神社へお持ち下さればお納めいたします。
喪のあった場合も、新しいおぶだはお受けし、鏡もちなどもお供えします。
家庭や職場に中心となる神棚を祀るのは民族の美風です。新家庭や未だお祀りしていない方もぜひお祀りしましょう。神仏を拝み良い手本を示すことで、子供も見習って心豊かに生長します。お正月は家庭教育の大事な機会としても受け継がれてきたのです。

撒かれ人気を呼びました。
自衛隊音楽隊・土別翔雲高・土中・南中・土別幼稚園の音楽行進に続き、お稚児さん・ジャランボー・子供花みこし・乙女舞・つくも太鼓と連なり、別順路で4基の子供神輿が巡り、35回中央通歩行者天国お祭広場では多彩な催し、柔道・剣道、16日は子供相撲・弓道大会、両日市民文化センターで各種展示会や茶会が開かれ、露店街も終日賑わい、テーマ通り祭りの輪が絆となりて日々の糧となる例大祭が開かれました。

第43回お祭り写真コンテスト

54点の応募を賜り報道関係者に審査頂き、8月18〜30日、市生涯学習センターいぶきで写真展が催されました。ご協力ご応募ご奉納に深謝申し上げます。
金賞 仲よし 中原和俊様
銀賞 怖いよ、 堀崎 栄様
銅賞 顔をもぎをめて 佐藤正敏様
銅賞 子供相撲大会 中津川邦夫様
銅賞 だじようぶかい 宍戸俊夫様
銅賞 凜として 佐藤正敏様
入選 きになるわ 宍戸俊夫様
入選 参進 佐藤三枝子様
入選 気合いを入れて 佐藤正敏様
入選 ぼく勝てるかな 工藤とき子様
佳作 お稚児さん 近野 強様
佳作 カッコいいでしょ 市川君子様
佳作 お稚児さん 栗野 薫様
佳作 福の神 木島喜久雄様
特別奉納90枚 剣刺町 加藤幸男様

まじゅうろ

◆共工電気工事株式会社渡會昭治社長に当社顧問は弓道場前市道の倒壊した水銀灯を撤去、LED街路灯一式を寄贈され、夜道明るさを取り戻したと喜ばれています。
◆平成27年度祭典委員会に阿達勇委員長は、渡御用五色旗3組と吹流旗3本・役職名入提灯8張を奉納されました。
◆阿達勇氏は本年度祭典委員長奉仕記念に社殿紫染貫紋袴と色のぼり二疋を奉納されました。
◆総代酒屋勝雄氏は本年度祭典副委員長奉仕記念に折畳テーブル4台・椅子12脚を奉納されました。
◆藤原幸子氏（土別短歌会会長）は金10万円を奉納されました。
◆市出身札幌市三分一正記氏は本年も8月来社され金3万円を奉納
京都市相原満・札幌市齊藤和子・同冬村勇陽・新座市佐藤允克の各氏より本年も同様ご送付。札幌市糠塚信子・同五十嵐楯臣・函館市佐藤実・樺原市佐藤隆士・大阪府高柳章各位より篤志、市内金井恵美子氏は祭典毎に鏡餅他ご奉獻。
詩歌祭に札幌市齊藤和子・同齊藤道子・同東志千尋・詩吟師範松岡岳兆他各位より篤志を賜りました。
今秋も中士別坪田公義氏は餅米一俵を奉獻されました。
◆土別弓道会の奉賛を頂き、道場

外壁と屋根塗装、内装一新、暖房機・除雪機更新事業が完了、早速高体連弓道地区新人戦大会から快適に使用されています。
金50万円奈良俊雄・同佐藤公聰。金10万円梅田誠。金8万5千円土別弓道会。金3万円高賢仁・同猪瀬幸江・同山田清明・同前畑孝明・同山中真樹。金2万円北岡琴江・梅田淳二（敬称略）。2万円未満7氏。総額一三八万五千円奉納賜りました。
◆佐藤育子氏に宮司妹は昨年8月26日71才で帰幽。かつて土別旭川で小学校教諭奉職、退職後札幌に住み、年末年始祭典等に來社奉仕生前の遺志で二〇〇万円ご奉納。
◆例祭前7月4日宮下自治会19人境内清掃、翌5日株式会社田中工業田中勝則社長はじめ50人が社殿周囲草取、8日九十九大学自治会と同窓会110人は境内草刈社殿清掃11日野球少年団20人が草取、17日例祭後宮下さくら会が清掃をそれぞれ奉仕されました。
◆前総代豊田市高井悟氏長男勇弥氏は斗病中9月6日26才で帰幽、生前のご遺志で金5万円奉獻。総代石森護氏は母堂スミエ氏が9月21日102才の天寿を全う金5万円奉獻。ご冥福をお祈り申し上げます。
◆このほか数々の奉獻ご奉仕ご協力、野鳥リス餌寄贈等のまじゅうろと併せ心から感謝申し上げます。

平成28年、干支は丙申、60干支の33番目。丙は十千の第3位、家に火が入るさまを示しています。
申は十二支の第9位、伸と同意語、手をすつと伸ばして物をつかむ猿の印象から申は猿が当てられました。
猿は霊長類で人間に最も似ています。「さるも木から落ちる」という諺、童謡に「お

として神聖視され、日枝神社等ではコマ犬の代りに一対の神猿が置かれ神使とされます。農業の守護神、山の神の使者としたり、既にまつて悪魔除けにする例もあります。
お産が軽いので、安産の神としても信仰されます。申の日は神事によい日で、祭日の神社も多くあります。
当地方では珍しい庚申塚が土別別荘にあり、大正9年庚申年に建立されました。庚申信仰では道の歌に「善き事は見ても聞いても悪しき事見ざる聞かざる言はざるぞよき」と。三猿像を祭って妊娠・安全・子育てを祈願しますが、日光東照宮の彫刻は有名です。猿は芸能とも関係深く猿楽から能楽へと発展しました。
平成3年大道芸の猿回し村崎太郎が相棒の次郎と共に芸術祭賞を受賞。花見全盛の昭和30年代、宝屋先代谷芳男氏が猿を呼び物に、九十九山臨時売店を出された風景も思い出されます。
獣類中最も智恵が勝るサル、本名はマサルに勝る。来る丙申年は魔が去り百福生じ、新しい力の伸展とエネルギーに満ちた年回り、どうぞお揃いで迎春を!! (公)